

好きな音楽と歴史に囲まれた、夢のような世界。

©Sachio Fujioka



スペイン北部、アストゥリアス州の州都。歴史地区は世界遺産で教会が多く鐘の音が街中に響く。写真はシエスタの後、雨降りの中を劇場へ向かう藤岡さんを奥様がこっそり撮影したものの、奥に見えるのは大聖堂。

「ヨーロッパのいろいろなところを見た人でも、みんなオビエドにはビックリする。街の中心が旧市街の世界遺産だし、全部石畳で、街には広告が1つも無い。オビエドのオペラハウスが金持ちで、「1カ月間、ほかの仕事はするな」と拘束したので、人生で初めて乗り物にまったく乗らずに、徒歩10分くらいのところにあるアパートと劇場とを、タイムスリップしたような旧市街を歩いて行き来していた。本当に夢の世界にいたようだった」
ヨーロッパで16年間暮らしたことがある藤岡幸夫さんは、そう振り返る。しかし、F1レーサーのフェルナンド・アロンソの故郷だったため、時にはこんなことも。

「彼が自分のチームを引き連れて帰郷し、突然、全市内通行止めになって。3台のF1が街中を乗り回すし、大事なゲネ（通し稽古）の日だったのに、オペラ座の前がピットになってブワンプワンプとエンジンの調整を始めて。うるさいから、練習を中止にした（笑）」
山が多く、他民族との交流がないせいか、住民は生粋のスペイン人ばかり。そのためか気高く、オペラ公演の初日、観客はみな素晴らしいドレスアップしてきたそう。
「ここで学んで、お金も時間も何もかも無駄をなくそうと思った。かみさんと2人で、好きな音楽と食事、歴史に囲まれていて、とてもシンプルで、とても幸せだったからね」



オペラハウスの前の藤岡さん。オビエドでは2006年と2010年の2回、公演している。



ソリストや関係者たちと記念撮影したもの。藤岡さんは海外でも女性からの人気が高い。



©Magu

Sachio Fujioka

●東京都生まれ。慶應義塾大学文学部卒業、英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。ロンドン「プロムス」で大成功を収め、マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団を経て、関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者を務め14年目。NHK大河ドラマ「平清盛」劇中音楽の指揮など、幅広く活躍。
www.fujioka-sachio.com